



学ぶ 伸びる 育つ

中央っ子

やさしく かしく たくましく

第10号
令和5年10月16日
中央小学校
文責 上原

後期 スタート

三日間の休みを挟んで、学校は、十月十日（火）から「後期」となりました。

前期の終業式では、二年生と四年生の学級代表児童が前期の振り返りを発表してくれました。また、後期始業式では、一年生と六年生の学級代表児童が、あいさつや無言掃除、音読、漢字、発表など、学習面や生活面で頑張りたいことを発表してくれました。六年生からは、「ダメなことはダメと言える中央小を目指したい」と学校全体に目を向けた発表もあり、最上級生としてとても心強く感じました。



毎日の生活・行動を大切に

後期始業式では、大リーグで活躍する大谷翔平選手が、高校生の時に書いた目標達成シートを紹介しました。「ドライ八球団」という目標を叶えるための八つの要素の中に、「運」「人間性」があり、それを満たすための八つの行動目標の中には、あいさつ、掃除、ゴミ拾い、思いやり、感謝、礼儀などが書かれています。大谷選手が、大きな目標を達成するために、日常の態度や行動を大切にしていたことを話しました。



子どもたちにも将来の夢や目標を持って欲しいと思いますし、その夢や目標を達成するために、「がんばる力」をつけて欲しいと思います。その土台となるのが、毎日の生活や行動の積み重ねです。



最近、朝は肌寒ささえ感じるようになり、季節はすっかり秋になりました。秋と言えば、学問の秋、スポーツの秋、読書の秋と、何をすることもよい季節です。一日一日を大切にし、実りの秋を充実したものにしましょう。



後期のスタートにあたり、子どもたちに毎日の生活・行動で

心がけて欲しいこととして、「大切にした10のこと」をあらためて確認しました。これらのことを当たり前のこととして身につけ、加えて自分で決めることをやり通すことで、自信が付き、いろいろなことがいけると思っています。



第三回学校運営協議会

本校は、「コミュニティ・スクール」として「学校運営協議会」が設置されています。年間五回の会議を予定しており、学校や地域の課題、強みを共有し、よりよい学校づくりや地域との協働などについて話し合っています。



今回は、運営協議会委員さんに加え、保護者代表としてPTA執行部の方々、児童代表として各委員会の委員長、そして本校職員が四々五人ずつのグループを作り、課題を



出し合い、よりよい中央小にしていくための取組等について話し合いました。班別討議の結果は、グループを代表して児童が発表し、全体で共有しました。どの班からも今後の取組につながっていくような前向きな意見が出されました。

最後に、児童代表による「中央感謝祭」の取組についてのプレゼンがあり、参加された方々から期待の声が聞かれました。

嬉しいこと

前期の終業式に嬉しいことがいくつかありました。一つは、地域の方から、「下校途中の小学生が横断歩道を渡ろうとしていたので停車したら、渡り終わった後、しっかりと頭を下げてくださいました。嬉しかったです。」とお電話をいただきました。

また、ある日の朝、職員室の外から「シャツ シャツ」と音がしたので窓の外を見ると、早めに登校した六年生が、竹箒を持ち一人で落ち葉を集めていました。しばらくすると、続いて登校した子どもたちがその姿を見て手伝い始めました。

感謝の気持ちを行動や態度で表す。自分で考えて行動する。どちらも素晴らしいです。広がっていくといいですね。